

全国高校総体スケート・アイスホッケー選手権は20日、八戸市などで3競技が行われた。アイスホッケーは八戸市と南部町で開幕。青森県勢は出場全3チームが1回戦に勝利し、2回戦へ駒を進めた。スピードでは、女子1500mで根城理実(八戸西)が4位となり、19日の3000mに続く入賞となった。

【19日に関連記事】

アイスホッケーは工大一が接戦を制し、八戸・八学光星合同が最終第3ピリオドで逆転勝ち。八戸工は大勝を取めた。スピードの男子は、1万mは佐々木海地(八戸西)の11位、

第73回 スケート・アイスインターハイ

1500mは村上雄太(同)の27位が県勢の最高だった。

フィギュアは女子の予選(ショートプログラム)が行われ、県勢はCグループの間口風花(工大一)が組33位。予選敗退となった。競技は女子の予選が全て終了。19日の予選Bグループで組4位だった聖前埜乃華(同)は全体で12位となり、上位24人による決勝(フリー)進出が決まった。

21日はスピードとフィギュアが最終日を迎える。スピードは男女のリレーと団体追い抜きを実施。フィギュアは女子フリー、アイスホッケーは2回戦がそれぞれ行われる。(取材班)



八戸・八学光星合同

鮮やか逆転勝利

○：八戸・八学光星合同
は、GK2人を除く登録メンバーが8人と、1セットしか組めない苦しい状況ながら、メンバー全員が気力を振り絞り、鮮やかな逆転勝利を収めた。

2点をリードされ迎えた第

【1回戦・八戸・八学光星・明大中野】
第3ピリオド15分49秒、八戸・八学光星は樋口能乙(奥)が決め、5-4と勝ち越すIIフラット八戸

3ピリオド(P)3分過ぎ、主将の樋口能乙(八戸3年)のミドルシュートを皮切りに、試合が動いた。
第2Pまで幾度となくゴールに迫りながら、決め切れずに「プラスチック」がたまっていったという樋口。決まりながら、「自分たちにとっては集大成の大会。次戦は北海道を代表する強豪だが、どこまで戦えるか試したい」と闘志を燃やした。

| |
|-----------------------------|
| ▽1回戦 |
| 八戸・八学光星 |
| 7 |
| 601 |
| 112 |
| 4 |
| 明大中野(東京) |
| ▽得点者【八】松本3、樋口3、金川【明】澤邊3、中村圭 |

【評】八戸・八学光星は、松本のゴールで先制するも連係ミスなどで3連続失点。1点を追う第3ピリオド11分過ぎ、パワープレーの好機で金川が決めた。同点に追い付くと、15分過ぎに樋口が勝ち越し弾。さらに2点加えて逃げ切った。めりほりのある攻守が光った。

| 【八戸・八学光星】 | 【明大中野】 |
|-----------|--------|
| 反補得 | 得補反 |
| 1100 | 池佐 000 |
| 0020 | 田伯 000 |
| 0000 | 邊慶 000 |
| 0000 | 橋川 000 |
| | 山井 000 |
| | 伊部 000 |
| | 中山 002 |
| | 山本 100 |
| | 谷真 000 |
| | 村山 000 |
| | 村山 000 |
| | 杉山 000 |
| | 計 404 |